

13011 児童教育演習Ⅱ p Pupil Education Seminar II			4 年次 通年 4 単位
担当者	原口 なおみ	履修可能学科	Pe必
		関 連 資 格	
サブタイトル	おはなしと絵本の研究		
授業内容 ・ ねらい	1. 演習Ⅰで学んだストーリーテリングの技に磨きをかけ、お話と子どもの本への理解を深める。 2. 図書館、保育園、幼稚園の読み聞かせおよび小学校での読書指導の実践記録を講読し、子どもの読書体験の意味を考える。 3. 学外でのおはなし会に、語り手として参加して、子どもの聞き方を学ぶ。		
授業計画	お話・わらべうた・手遊び・詩・絵本等を組み合わせ 20分程度のお話会を実践。纏りのあるプログラムを立てられるよう、教材を研究する。 毎月1回は、覚えて語るお話会。自分の進路を考えて、聞き手となる子どもに合わせてお話を選ぶ。 実践記録を参考にして、古典的な児童文学を読み、作品を紹介する（ブックトーク）。		
教科書 参考書	参) 中村証子 著『絵本はともだち』（大和書房）、石井桃子 著『子どもの図書館』（岩波新書）、脇明子 著『読む力は生きる力』・『物語が生きる力を育てる』（岩波書店）、ドロシー・パトラー 著『クシュラの奇跡』（のら書店）		
評価方法	平常点 : 自分の担当したお話会を、学んだ理論を踏まえ、適切な作品を選んで、誠実に構成したかどうか、および、毎回の授業を、ポイントをおさえて記録できたかどうか（授業記録を毎回提出）を評価する。 レポート：授業以外のお話会に参加したレポート年間2通、ブックレポート年間2通		
事前準備学習 履修条件等	児童文化Ⅰおよび演習Ⅰ（原口担当）を、履修済みであることが望ましい。		